



# 伊賀市議会だより

No. 4

平成18年3月1日

伊賀市議会に関する  
住民懇談会の様子



西柘植公民館



青山ホール



あやま文化センター



大山田環境改善センター



島ヶ原会館

## ひとが輝く 地域が輝く

～住みよさが実感できる自主と共生のまち～

十一月三十日	十一月三十日	十二月六日	七月	八月	九月	十二月一日	十一月三十日	十一月三十日
開会、市 政所信表 明、市長 提出議案 の採決	開会、市 政所信表 明、市長 提出議案 の採決	市長提出 議案の採 決	市長提出 議案の採 決	市長提出 議案の採 決	市長提出 議案の採 決	市長提出 議案の採 決	市長提出 議案の採 決	市長提出 議案の採 決
市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決
市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決
市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決
市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決	市長提出 議案の上 程、質 疑、採決

十二月定期  
会議日程

市政に  
対する

一般質問

一般質問は十二月六日から四日間行われ、二十四人の議員から、市の諸問題についての質問がありました。

合併特例債についての考えと  
今年次計画の考えはどうか

(勝矢節義議員)

**Q** 合併特例債は合併市町村の早期一体化、地域の活性化のための活用にある。十八年度から均等にその額を配分しているが、総額四百五十億円、何を優先し、何を淘汰し、何を限られた特例債の活用で考えと、これから積み上げる三十八億円の基金は地域の特色あるまちづくりのソフト面に活かすべきと考えるが、その計画はどうか。

**A** 積み残された事業は多くありますが、重要な、しかも実施可能なものから順位をつくり、総合計画に沿って順次展開してまいります。



総合計画と財政計画の見通しはどうか

(英 成員議員)

**Q** 近いうちに新市基本構想、総合計画が答申されることになっている。総合計画の方では、具体的な施策が提示されることになっているが、構造改革が進む中、自主、自立、将来

の市民の負担低減という観点から、財政計画をどのように生かしていくのかお尋ねする。

**A** 現在、ご議論をいただいているところですが、財政見通しについては大変厳しい状況にありま

す。財政見通しは、委員会でバックデータとして持っていたら、今後論をいただいているところですが、今後答申をいただいた中で、具体的な施策に基づいて財政計画を策定する作業になるかと思えます。基本計画ができるのと同様くには財政計画もお示しできると考えています。



地域の特性を生かした新市の方向について

(今井由輝議員)

**Q** 各種団体や組織に対する補助金を毎年十%カットし、三年間で三十%削減と聞くが、各種団体や組織には長い歴史があり、各支所や組織との綿密な話し合いのもとに、必要性将来性をよく考慮して進めていただきたい。

**A** 財政改革の中で今回削減枠対象六百六十二件その額八億円で、今までのようにあれもこれもというわけにはいかない状況であり、今後必要なもの、一定の成果を満したものの、少し減額するもの、逆に新たに発生するもの等、よく精査し一体化の中の地域の特性を生かしたまちづくりに努めてまいります。



JR関西線の電化について

(今井博昭議員)

**Q** 伊賀市長として、JR関西線復線電化の整備に向けた取り組みをどのように進められているのか、お聞かせ願いたい。

**A** 従来どおり運動の展開を継続してまいりますし、議員さんの議論もあり、こういった他の同盟会等と連携をしながらこの運動の灯を絶やさないようにしていく事が、いつかは電化につながると思えます。先般、知事と亀山市長と私の三人で関西線電化問題の話し



JR新堂駅

合いをしました。前向きに取り組んでいこうという気持ちは通じ合っていますので地元としても従来の運動及び沿線自治体が連携して取り組んでいくことになると思っております。また側面的には是非ともご協力をお願いいたします。

近鉄伊賀線について

(馬場登代光議員)

**Q** 年間四億円余りの赤字が続いていること、十二車輛の入替時期が来るとは赤字縮小の改善策が見込めないとすると、廃線問題が起こって来る。近鉄伊賀線活性化協議会でどんな存続策が出されているのかお伺いする。

**A** 基本的に今のままです。近鉄が好むと好まざるにかかわらず廃線をせざるを得ない状況に追い込まれるのは間違いのない事実です。近鉄の社長とお会いしたときに、線路や車輛の維持管理は近鉄が責任を持ち、運営に伴う赤字は伊賀市のできる範囲内において支援してもらえれば存続できるという意味のことをお話しさせていただきました。



近鉄伊賀線

### 近鉄伊賀線の活性化と行政の役割について

(前田孝也議員)

Q 歩行中、上野市駅周辺で目につくのは、多数の老舗のシャッターが下りて店を閉めている状況で、真昼の商店街に赤字路線の厳しさとその象徴を感じる。伊賀市の活性化は市内を唯一南北に走る近鉄伊賀線から始まるが、単独運営の極めて厳しい伊賀線の活性化に行政として、どのように取り組みをしているのかお尋ねする。



上野市駅前

を美術館等、文化芸術活動の拠点として活用し、公園一帯を文化ゾーンとしてグレードアップさせてはどうか。  
A 文化レベルの高い伊賀市としては、市民の文化芸術活動の拠点のひとつとなるべき施設は必要であると言う認識はもっています。市民会館が適しているか、また新芭蕉記念館と併設と言う声もあるので、そのことも含めて検討いたします。



上野市民会館

### 上野市民会館(公園内)を活用した美術館構想について

(安本美栄子議員)

Q 上野公園内にある上野市民会館  
A 毎年四億円の赤字を出し、そのまま存続することは近鉄としても辛いことで、議会の皆様と相談し支援策について現在検討いたしております。日程的に、この日だけで済むのか否かは別として、この状況を詳しく説明し議論を深め、今後の伊賀線の存続方法についてご意見を賜り検討していきたいと思っております。

### 学童の通学路の安全対策について

(中本徳子議員)

Q 全国的に児童の誘拐、殺人、わいせつ等の犯罪が多発している。事故を未然に防止するために、どのような取り組みをしているのか。特に



具体的な実地訓練を定期的に取り入れ、児童にしっかりと意識付けを図っていくべきだと思いが、お尋ねする。  
A 伊賀市管内(四月、十一月)八ヶ月間では、声かけ十四件、わいせつ十件、後追い等四件、盗撮三件、暴行障害一件の三十二件発生しています。広島、栃木、長野等において事件が続き、いっどこで起こるか分からないという強い危惧の念を抱き、保護者の皆さんや地域の方々と連携して子どもを守っていく活動を展開中であります。

### チャイルドファーストの視点から

(渡久山カナエ議員)

Q 放課後児童クラブが開設されていない校区の保護者の方から要望が多く、学校には個々の声が届いていないように思う。年々需要が多くなっていく中で、スポット利用なども含め利用したい人の希望をアンケートなどで吸い上げ、公平なサービスの提供を望む。  
A 上野支所管内で保護者の代表の方が、アンケートをとっていただき、要望もいただきましたが、少人数では難しく二十名以上の申し込みが



あれば望ましいと考えます。スポーツは現在一か所ですが要望があればこたえていきたいと思えます。  
【スポット利用II家庭内での緊急時に子どもを預かってもらおう】

### 性に関する指導・教育の現状は

(森野廣榮議員)

Q 現代社会には性情報があふれ、携帯電話やインターネットの普及により、今までなかった非行、性犯罪の事件や問題も多様化、深刻化しているが、性教育の方針、教員研修や家庭との連携についてお尋ねする。  
A 性教育については、文部科学省の学習指導要領に基づき児童生徒及び地域の実態に応じて性教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、組織的、計画的に実施するよう、また学校における性教育の取り組みを授業参観、保護者懇談会、学級通信、保健だより等を活用し保護者に周知家庭と学校が一体となった性教育が行われるよう今後も指導してまいります。



## 伊賀市同和教育基本方針の策定は

(坂井 悟議員)

**Q** 旧六市町村において、同和教育基本方針が制定されていた。差別をなくす、人権を守る、人権文化豊かなまちづくりを進めていくうえで、人権教育の柱として伊賀市同和教育基本方針が制定されなければならないと思うが、その意向をお伺いする。



**A** これまでの旧各市町村における同和教育の取り組みの成果と課題を明らかにするとともに、部落差別の実態や住民意識を十分に把握・分析し、伊賀市人権・同和教育基本方針をいっしょに策定してまいりたいと考えています。

## 介護保険、独自の軽減対策を

(森永勝二議員)

**Q** 介護保険にホテルコスト(食費及び居住費)が導入され施設に入所されている方は大変な負担増である。また、デイサービス、デイケアの食

費についても低所得者向けの補足給付の仕組みをすらない。自治体独自の負担軽減策をとるべきである。

**A** デイサービスを利用されている低所得者の場合につきましては、食費については他の在宅サービスを利用する方との公平性から、収入に応じた軽減制度はありませんが、社会福祉法人等が実施する減免から低所得者対策がなされていることから、伊賀市におきましては、独自の減免制度は現在考えてはいないと考えています。



## 介護保険制度について

(土井裕子議員)

**Q** 平成十八年度の介護保険制度改正に向け、どのようにシステム構築されるのか。又、地域包括支援センターについてお伺いする。

**A** 今回の改正の中で、特に予防重視型システムの転換につきまして、医療と介護、老人保健医療と介護保険との連携など、介護予防のマネジメントシステム構築に取り組んでいきます。地域包括支援センターに

つきましては、年明け早々に運営協議会を設置いたします。機能的にはセンターが中立性を確保し、公正な運営を継続できるように、その事業活動をチェックし必要に応じて是正、改善を求め、又重要提言を行います。



健康福祉部介護保険課

## 障害者に手厚い支援を

(森岡昭二議員)

**Q** 二〇〇六年四月から障害者福祉制度が従来の支援費から自立支援法へ制度が改革され、今までの負担ゼロか低額負担でよかつた様々なサービスに一律一割負担が課される。今まで以上に障害者の方々の生活が厳しくなる。市としての支援策と手だてについてお伺いする。



**A** この制度の改革は、将来介護保険と一緒にしたいという国の思いがあり、介護保険同様一割負担をしていただき、残りを保険と税金で賄おうとする制度変更であり、基本的には言われることは理解できますが、市でその分を補填するということができないというのが現状であります。

## 障害者自立支援について

(北出忠良議員)

**Q** 障害者の多くは、収入七、八万の障害基礎年金に頼っているのが現状で、障害者が自立できるための支援策について、お聞かせ願いたい。

**A** 最も大事なことで、自立に向けて屋外の仕事にも目を向け、支援を充実させるため幅広く考える必要があると思っております。



きらめき工房

伊賀市障害者支援センターを設置し、一、保健福祉サービス利用の援助調整を図る。二、地域における生活全般に関する相談・支援を行う。三、就業に関する相談・支援を行う。この事業をもって相談業務を確立してまいりたいと考えております。

### 順次整備していく大山田地域の諸問題について

(桃井隆子議員)

Q ①大山田西保育園改築の進捗状況、②大山田小学校の通学路の歩道整備とスクールバス乗降場の確保、③大沢区、虹ヶ丘へのスクールバス通学の大山田地域の諸問題について伺います。

A ①十七年度の国の補助金が付かなかったため、手付かずですが、十八年度も予算化していきます。②歩道は国の補助制度等を活用した整備を検討中です。道路整備が完了しました。乗降場は校舎付近に設置したいと考えています。③市内のスクールバス導入を踏まえ検討中です。



大山田西保育園

### 住民自治協議会と自治会・区長会について

(森本 聡議員)

Q 伊賀市自治基本条例には住民自治協議会の役割分担が明記されているが、自治会・区長会との関係が規定されていない。

旧上野市部におけるその関係と旧郡部における関係は現時点において大きな差異があり、関係者の運営上大きな支障となつていく。これに対して行政が何らかの方策を採り、基本条例の精神を生かすべきと思うが対応を伺いたい。

A 制度がスタートして間もないため暗中模索の段階です。条例上は自治協議会が非常に権限をもつていますが、活動面を考えると住民に対する指令権を有する区長に協議会の役員に入ってもらい協議決定に参画してもらおうのがよいと思えます。行政としても可能な限り支援していきます。



### 地域交付金の支給は二年で終わるのか

(本村幸四郎議員)

Q 各地域で住民自治協議会の設立が進んでいる中、まちづくり計画の作成について色々検討していただいているが、地域交付金の支給については二年間だけと言う話が現場では有るが、それでは長期的な将来計画は出来ないと言われている。是非とも長期に支給できないか。

A 交付金には設立交付金と地域交付金の二種類があるが、設立交付金は二年で終わりますが、地域交付金は特別な事情がない限り、又住民自治協議会が解散しない限り永久に現在のところ支給していきたいと思えます。

### 不法投棄の現状と処理について

(岩田佐俊議員)



Q 山林や作り手のいなくなった田畑等への不法投棄が、かなり以前からあると、その現状と民有地へ第三者の他人が無断で不法投棄した物への処理について、どのように対処しているのか、お尋ねする。

A 不法投棄については大変残念なことですが、当局においても山林、

河川、道路、公園、民有地、至る所に廃棄物が投棄されている状況です。現在、環境パトロール等も行っていますが、不法投棄が減らないのが現状です。処理については民有地に投棄された物につきましても原則として、誰であれその土地の所有者或いは管理者に処理していただきたく思っています。不法投棄を未然に防ぐには、自己所有地につきましても十分な管理をしていただきたいと思います。

### 小児救急診療所を

(松村頼清議員)

Q 安心して子育てができる充実した医療体制を整え、一次救急の患者さんを休日、夜間を問わず診てもらえる小児救急診療所を、伊賀市でドクターを雇っていただき、又地元医師会の皆さんにも協力いただいで運営できるように、是非とも設置いただきたい。

A 次救急につきましては、行政責任となつてまいります。いざれにしても患者さんの命が一番大事でありますから、市民のとりわけ子どもをお持ちのご家庭に不安をかけない施策を、医師会にも今後十分説明をさせていただきます。取り組んでまいります。



### PET検査について

(森 正敏議員)

**Q** 来年から市民病院で早期のガンが発見できるPET検査ができるようになるが、その説明と高額と聞く検査料及び保険が適用されるのか、お伺いする。



**A** PETは全身の断層画像を撮影してガンの診断をします。ガン細胞は増殖時に多量のブドウ糖を摂取するので、体のどこかにガンがあれば注射されたブドウ糖類似薬が病巣に集まるのでガンが発見できるのです。検査料は高価な薬を使うので九万円前後ですが、疾患と条件が合えば健康保険の適用もあります。撮影は三十分ぐらいで終わります。

### て 中心市街地活性化策について

(本城善昭議員)

**Q** 当課題については、従来、商業の活性化にのみ集約されてきたが、商業の振興だけではなく、個別商店の充実、商業集積による回遊性の強化、歩行者環境の整備、公共交通の利用促進、町中居住の推進等多様な施策が必要であり、これらの関係者を統合するまちづくり機構・機関が

必要と考えるが、市長の御所見をお伺いする。

**A** 長浜市のように民間の非常に熱意のある人が中心になり、まちづくり会社のようなものを統合してつくり、そして行政が支援をしていくという形をとれば、このまちも活性化していくのではないかと考えます。



銀座通り

### 品目横断的経営安定対策の概要は

(葛原香積議員)

**Q** 農政問題に関わり、平成十九年度から始まる経営所得安定対策大綱の一つでもある品目横断的経営安定対策の概要をわかりやすく説明願いたい。

**A** これまでは、生産者一律に面積当たりの補助を行ってききましたが、対象となる担い手を認定農業者又は一定の要件を整えた経営体が補助さ

れる方向になってまいります。認定農業者では四ヘクタール以上、集落営農では二十ヘクタール以上の耕作を行っているものが対象となつてきますが、中山間地、有機栽培、複合経営等に取り組んでいた方については、緩和の措置がございます。



### 新たな水田農業政策と地域の現状を問う

(奥 邦雄議員)

**Q** 財政改革のもと政府は十九年度から新たな水田農業政策で認定農家と経理一元化した特定農業団体を求めている。伊賀市管内の農業の担い手の不足と高齢化の中、第一種第二種兼業のサラリーマン農家で経営規模を拡大し、やる気のある担い手を認定農家に、又現在の生産調整対応の営農組合を特定農業団体として農地主と農地銀行を通じた貸借契約を結ぶる制度に拡大し、国からの交付対象地域の拡大を推進する必要がありますが

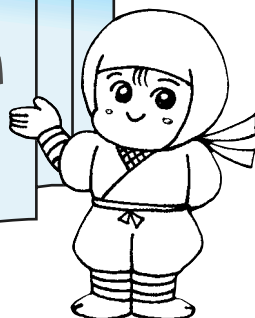
ると考える。  
**A** 伊賀市として国県に沿った基本構想を進めており、判断基準を農業経営基盤強化促進協議会で検討いただきたいと考えています。  
今の営農組合組織では補助の対象にならないため、特定農業団体となり農地貸借契約をされたかと考えています。



あなたも議会を  
傍聴してみませんか

ケーブルテレビ行政チャンネル17

で生中継しています。



# 常任委員会

各常任委員会では、第6回定例会において付託された議案65件について審査を行いました。主なものは、次のとおりです。



## 建設水道

議案第二百六十三号

『伊賀市建築基準法関係手数料条例の一部改正について』

付託 議案 七件

本案は、建築物の安全性及び市街地の防災機能の確保等を図るための建築基準法等の法律が改正されたため、既存不適格建築物に係る規制の合理化の観点から、建築基準法の適用を受けない既存不適格建築物を複数の工事に分けて増築等を含む工事を行う場合、段階的に適合させていく計画について、市が認定申請を行う全体計画認定制度の創設で、この認定申請及び変更申請の手数料の徴収について追加するもので、いずれも一件二万七千円であり、委員からは、伊賀市全体の耐震調査状況は、また、耐震補強の補助はあるのかとの質疑がありました。



## 教育民生

議案第二百六十号

『伊賀市教育研究センター設置条例の一部改正について』

付託 議案 三十一件

教育研究センターは、教育関係者の研修や不登校児童の支援を行うことを目的として設置された施設で、旧友生小学校の一部を改修し、移転するものであります。このため、同センターの位置を「上野丸之内百十四番地」から「上友生七百八十五番地」に変更する条例の改正をするものであります。

委員からは、地域の生涯学習的な活動はできないのかという質疑がありました。当局からは、教育研究センターは、教員の技量や地域の教育力を高める施設で、教職員だけでなく学校教育・社会教育に係る施設との説明がありました。



伊賀市教育研究センター

## 総務

議案第二百五十七号

『伊賀市職員等公益通報条例の制定について』

付託 議案 十八件

本案は、「公益通報者保護法」が施行されることに伴い、本条例を制定するもので、職員が遵守すべき職務に係る倫理原則、職員の報告義務、公益通報の手続、不利益取扱の禁止等を定めています。これにより、市職員等の公益通報者の保護を図り、公益通報の機会を拡充することにより、公平かつ公正な市政運営と市民の皆様の市政に対する信頼の確保を目的としたこととあります。

委員からは、通報者の名前の公表や保護は具体的にはどうなっているのかという質疑がありました。

当局からは、通報案件の内容は公表するが、通報者の名前は公表しない。また、通報によって不当な扱いをされることのないようにしたいとの説明がありました。



## 平成16年度一般会計ほか各特別会計決算を認定

(平成16年11月1日から平成17年3月31日までに係る分)

事務事業の見直しや経費の節減・合理化を図り、「ひとが輝く地域が輝く」伊賀市の実現に向け、一層の努力を期待

### 各会計の収支決算額 ※は翌年度へ繰越すべき財源を含む (単位：千円)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引残額
一般会計	32,383,651	30,478,356	1,905,295
国民健康保険事業	4,410,031	3,851,831	558,200
簡易水道事業	1,767,027	1,533,995	※ 233,032
住宅新築資金等貸付	89,430	150,433	△ 61,003
駐車場事業	49,573	48,433	1,140
老人保健	4,533,240	4,578,734	△ 45,494
介護保険事業	2,943,869	2,932,540	11,329
農業集落排水事業	1,678,848	1,647,960	※ 30,888
公共下水道事業	589,040	549,896	39,144
浄化槽事業	48,499	47,867	632
サービスエリア	58,318	55,664	2,654
島ヶ原財産区	13,071	10,550	2,521
大山田財産区	3,521	2,652	869

# 12月定例会 提出議案の審議結果

■**原案認定したものの**  
 議案第二三七号 平成十六年度三重県伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定について  
 議案第二三八号 議案第二四九号 平成十六年度三重県伊賀市各特別会計歳入歳出決算の認定について

■**原案可決したものの**  
 議案第二五〇号 平成十七年度三重県伊賀市一般会計補正予算(第四号)  
 議案第二五一号 平成十七年度三重県伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)  
 議案第二五二号 平成十七年度三重県伊賀市簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)  
 議案第二五三号 平成十七年度三重県伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第二号)  
 議案第二五四号 平成十七年度三重県伊賀市病院事業特別会計補正予算(第二号)  
 議案第二五五号 平成十七年度三重県伊賀市水道事業会計補正予算(第二号)  
 議案第二五六号 平成十七年度三重県伊賀市伊賀下水道事業会計補正予算(第二号)  
 議案第二五七号 伊賀市職員等公益通報条例の制定について  
 議案第二五八号 伊賀市職員の給与に関する条例及び伊賀市任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について

議案第二五九号 長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部改正について  
 議案第二六〇号 伊賀市教育研究センター設置条例の一部改正について  
 議案第二六一号 伊賀市グループホーム設置及び管理に関する条例の一部改正について  
 議案第二六二号 伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
 議案第二六三号 伊賀市建築基準法関係手数料条例の一部改正について  
 議案第二六四号 損害賠償を定め、和解することについて  
 議案第二六五号 伊賀市生活排水処理施設整備計画について  
 議案第二六六号 工事委託協定の締結について  
 議案第二六七号 市道路線の認定について  
 議案第二六八号 市道路線の変更について  
 議案第二六九号 市道路線の認定について  
 議案第二七〇号 辺地に係る総合整備計画について  
 議案第二七一号 平成十七年度三重県伊賀市駐車場事業特別会計補正予算(第一号)  
 議案第二七二号 伊賀市・名張市広域行政事務組合規約の変更に関する協議について  
 議案第二七三号 議案第二九三号  
 議案第二九四号 議案第三二二号

指定管理者の指定について  
 伊賀市環境保全都市宣言について  
 伊賀市青少年健全育成都市宣言について  
 議会制度改革の早期実現に関する意見書(案)の提出について  
 「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書(案)の提出について

■**原案同意したものの**  
 議案第三二二号 教育委員会委員の任命について  
 議案第三二三号 人権擁護委員候補者の推薦について  
 議案第三二四号 人権擁護委員候補者の推薦について  
 議案第三二五号 人権擁護委員候補者の推薦について  
 議案第三二六号 人権擁護委員候補者の推薦について

■**原案継続審議となったものの**  
 議案第二九四号 指定管理者の指定について



## 青少年健全育成都市宣言を決議!

近年、青少年による凶悪犯罪や青少年が被害者となる凶悪犯罪が大きな社会問題となっています。また、少子高齢化・核家族化など、家庭の養育力・地域の教育力の低下が言われています。家庭・地域・学校・関係機関が相互の協調と連携の輪を広げ、青少年の健全育成に取り組むため「青少年健全育成都市宣言」を決議しました。

### 伊賀市青少年健全育成都市宣言

明日の伊賀市を大きく発展させるのは、青少年です。そして、次代を担う青少年が、夢と希望を抱き心身ともに健全に成長することは、すべての市民の願いです。

近時、青少年を取り巻く状況が著しく変容する中で、豊かな情操と確かな知性を備え、ひとが輝く、地域が輝く伊賀市づくりに積極的に取り組むことができる青少年を育むことが重要です。

ここに、伊賀市は、青少年を守り育てる施策を総合的かつ積極的に推進し、明るい明日を約束するため、「青少年健全育成都市」を宣言します。

平成十七年十二月二十一日

伊賀市議会

## みんなで徹底しよう「三ない運動」

~「贈らない!求めない!受け取らない!」~

- 政治家の寄附の禁止
- 政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止
- 政治家の関係団体の寄附の禁止
- 後援団体の寄附の禁止
- あいさつを目的とする有料広告の禁止



2月3日、6日、7日に各支所管内において開催いたしました「伊賀市議会に関する住民懇談会」にご出席いただき、多くの方から貴重なご意見を賜り厚くお礼申し上げます。今後も、市議会に対してご協力、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

議会改革検討委員長